

第2期 子ども・子育て支援事業計画 令和4年度個別事業計画 実績

資料 1

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針1>子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(1)経済的支援	保護者負担の軽減	1	児童手当	子育て支援課	中学校修了前の児童を養育している人に支給 支給額 3歳未満 月15,000円 3歳以上小学校修了前(第1子・2子) 月10,000円 (第3子) 月15,000円 中学生 月10,000円	支給実績 延85,966人 947,615千円
		2	子どもの医療費助成	健康推進課	・就学前児童、小中学生及び高校生の入通院医療費の助成を行い、窓口負担無料化とする。	令和4年8月診療分から通院の対象範囲を高校生世代まで拡大し、新たに1,685人に受給者証を発行した。また、現物給付対象者の自己負担額を無料とした。
		3	出産祝金	子育て支援課 地域創造課	【過疎地域・田舎暮らしモデル地域】 「子どもの出産時に指定地域に住所を有し、定住する意思が認められること」及び「自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること」を満たした出産児の養育者に、出産祝金として第1子3万円、第2子5万円、第3子7万円および第4子以降1人につき10万円を支給。 【上記以外の地域(伊那地域)】 人口増対策として、第3子2万円、第4子以降1人につき5万円を支給する。 (子育て支援課)	・過疎地域 22件 ・田舎暮らしモデル地域 3件(1子1件、2子2件) ・伊那地域 65件(R5年2月末現在)
		3-2 新規	乳児おむつ用品購入券支給事業	健康推進課	子育てに必要なおむつ用品を購入する、その一部を助成する。子育て世帯の経済的負担を軽減し、市民誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境を整備し、少子化対策及び子育て生活支援を図ることを目的とする。支給対象児1人につき24,000円を限度。	(2月末時点)発券者数380名、事業者への補助額 9,040,967円
		4	子育てすまいる	管理課	引き続き、子育てすまいる事業(高遠・長谷地区にある市営住宅の所得要件等の緩和、家賃の2割軽減)を実施する。(終期を令和6年3月まで延長)	子育て世帯の家賃軽減を行うため、子育てすまいる事業を実施した。(高遠・長谷地区にある市営住宅の所得要件等の緩和、家賃の2割軽減) 対象世帯 68世帯

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)	
(2)出産環境の整備	妊婦健康診査	5	妊婦一般健康診査	健康推進課	一般健康診査(14回分)を公費負担する。	(2月末時点)利用者のべ6,470人、補助金額35,899,150円	
		妊産婦支援の充実強化	6	母子健康手帳発行	健康推進課	妊娠届出者に母子手帳を発行する。	364人に発行(3/10時点)
			7	妊婦、出生届出時相談、指導	健康推進課	妊娠届出時に保健師による個別相談と指導を実施する。届出全数に対応する。	364人に相談等実施(3/10時点)
			8	ハイリスク妊産婦への訪問指導、相談(養育支援訪問事業)	健康推進課	妊娠届出時の個別相談において把握したハイリスク妊婦に対し、養育支援ネットワーク会議を月1回開催して支援計画を作成し、保健師の訪問等により継続支援をする。	妊娠届出時の個別相談において把握したハイリスク妊婦に対し、養育支援ネットワーク会議を月1回開催して支援計画を作成し、保健師の訪問等により継続支援をした。ハイリスク妊産婦に対する支援検討や実施 延べ205人(2月末現在) 養育訪問3件 依頼2件 実施
			9	産後ケア事業	健康推進課	産褥期の機能回復に不安のある者や初産婦等で育児不安のある者を対象に、7日間限度で上伊那管内クリニックや助産院等での宿泊、日帰り又は訪問型支援の利用に対して補助を行う。	(2月末時点)利用者延べ9人、補助額 285,100円
	子育て講座等の開催	10	ハッピーバース講座の充実	健康推進課	・1コース3回の講座を年間10回開催する。 ・4箇所の産婦人科医療機関にポスター、パンフレットを継続して置き、事業の啓発拡大を行う。	・3つの内容の講座を年間10回程度開催した。 ①講座8回31人参加 ②講座11回163人参加(内夫婦で参加81組)③講座9回58人参加(予定含む) ・4箇所の産婦人科医療機関に継続してポスター掲示、パンフレット配置し、事業の啓発拡大を行った。	
		11	出産応援セミナーの開催	健康推進課	出産前2か月程度の妊婦を対象として、出産を安心して迎え、産後に使えるサービスや支援について伝えるための出産応援セミナーを月1回開催する。	出産前2か月程度の妊婦を対象として、出産を安心して迎え、産後に使えるサービスや支援について伝えるための出産応援セミナーを月1回開催した。278人参加(内夫婦で参加10組)	

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
その他		12	不妊治療費助成事業	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療者の経済的負担の軽減のため、治療の助成を拡充する。 ・市ホームページへの掲載、県窓口パンフレットを置き、事業の啓発拡大を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療者の経済的負担の軽減のため、治療の助成を拡充する。 ・市ホームページへの掲載、県窓口パンフレットを置き、事業の啓発拡大を行った。 (2月末時点)R3年度引継ぎ制度14名、1,610,826円、保険制度適用後(R4.4月以降)5名、790,802円
		13	産科等開業支援事業	健康推進課	不妊に悩む市民が身近で安心して治療を受けられる環境を整備するため、市内に不妊治療専門医療機関を開業しようとする者に1,500万円を上限に補助金を交付する。	R4年度 実績なし。
		14	助産施設への入所	子育て支援課	経済的理由により入院助産を受けることが出来ない妊産婦に対し中央病院に入院助産委託する。	経済的理由により入院助産を受けることが出来ない妊産婦に対し中央病院に入院助産委託した。R4年度 実績なし。
		15	ウッドスタート事業 ブックスタート事業 子守歌CD贈呈事業	耕地林務課 生涯学習課 健康推進課	【ウッドスタート事業】伊那市における木工産業の振興と木育の推進を目的に、6か月相談時に木のおもちゃを贈呈する。 (耕地林務課) 【ブックスタート事業】6か月健診時に本をプレゼントし、子育ての中に読み聞かせを取り入れることで、豊かな心を育む子育てを推進する。 (生涯学習課) 【子守歌CD贈呈事業】誕生祝品として、伊那市歌うふるさと大使である由紀さおりさんと姉の安田祥子さんが唄う子守唄のCDを対象希望者に1枚贈呈。子守唄には、子どもや親の心を落ち着かせたり、言葉や知覚の発達を促すなど様々な効果があるとされている。 (健康推進課)	【ウッドスタート事業】 378品贈呈(令和5年2月末現在) (耕地林務課) 【ブックスタート事業】6か月健診時に本をプレゼントし、子育ての中に読み聞かせを取り入れることで、豊かな心を育む子育てを推進する。10冊の候補中から保護者に1冊を選んでいただき、毎月2回、市保健センターに職員が出向いて手渡している。 R4年度実績 371冊贈呈(R5.2月末時点) (生涯学習課) 【子守歌CD贈呈事業】 167枚贈呈 (健康推進課)

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(3)子どもと親への健康支援	乳児家庭全戸訪問事業	16	乳児(新生児)訪問指導・養育支援訪問事業	健康推進課 子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の健全な発育発達の援助と母親の不安や悩みについて訪問支援を行う。出生全数に対応する。 ・妊娠中から出生後の母子への養育訪問支援を行う。(健康推進課) ・母子家庭の母に対して保健師及び家庭児童相談員と連携支援を行う。(子育て支援課) ・子ども相談室と連携し、保健師等が養育支援を行う。(学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の健全な発育発達の援助と母親の不安や悩みについて訪問支援を行った。出生全数に対応した。315人訪問 ・妊娠中から出生後の母子への訪問支援を行った。のべ54人訪問(健康推進課) ・母子家庭の母に対して保健師及び家庭児童相談員と連携支援を行った。(子育て支援課) ・子ども相談室と連携し、助産師等が養育支援を行った。(学校教育課)
	乳幼児健康診査及び相談事業	17	乳幼児健康診査	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関で実施する乳児一般健康診査の受診券交付(1人1枚) 〈実施する乳幼児健診及び相談〉 ・3か月乳児健診 ・1歳6か月乳児健診 ・6か月乳児相談 ・2歳児健診 ・10か月乳児健診 ・3歳児健診 各月2～3回実施 ・3歳児健診時に保育士が参加し遊びの提供をしながら子どもの様子を見て保育園へ繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関で実施する乳児一般健康診査の受診券交付(1人1枚)(2月時点)延べ286名、1,713,140円 〈実施する乳幼児健診及び相談〉 ・3か月乳児健診 356人受診 ・1歳6か月乳児健診 386人受診 ・6か月乳児相談 387人受診 ・2歳児健診 373人受診 ・10か月乳児健診 370人受診 ・3歳児健診 462人受診 各月2～3回実施 ・3歳児健診時に保育士が参加し遊びの提供をしながら子どもの様子を見て保育園へ繋げた。
		18	育児・母乳相談	健康推進課	医療機関や助産所助産師による育児母乳等の相談を受ける場合の補助を行う「育児相談券」を交付(1歳6か月までの間で、2,000円の助成券を1人3枚交付)	(2月末時点)延べ 274名 548,000円
		19	ママヘルプサービス	健康推進課	出産後に家族内に家事、育児等の補助者のいない家庭に、出産の翌日から12週以内でヘルパー派遣の補助を行う。	(2月末時点)9名、延べ82日、101時間、281,500円
		20	あそびの教室	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターで、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。 ・専門的な支援が必要と思われる子どもに対して集団遊びを行い発達を促すとともに、親に対して適切な育児支援を行う。 じゃんぶ・すてっぶ(2教室)月2回 すてっぶミニ どんぐり月2回 小グループ(たんぼぼ)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターで、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行った。 小グループ(たんぼぼ) (子育て支援課) ・専門的な支援が必要と思われる子どもに対して集団遊びを行い発達を促すとともに、親に対して適切な育児支援を行った。 じゃんぶ・すてっぶ(2教室)月2回開催 じゃんぶ 22回 延べ177人 すてっぶ 21回 延べ167人 すてっぶミニ 9回 延べ60人 どんぐり月2回 23回 延べ131人
21	虐待予防自助グループ	健康推進課	子育てに悩んだり自信が持てない母親に対し、子育てワークショップ1回、自助グループ6回(親育ちプログラム)を開催する。	子育てに悩んだり自信が持てない母親に対し、子育てワークショップ1回、自助グループ6回(親育ちプログラム)を開催した。		

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
	その他	22	予防接種	健康推進課	法定予防接種の実施(すべて個別接種) ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合(百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ) ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん(積極的勧奨します) ・水痘 ・B型肝炎 ・ロタウイルス感染症(R2開始) ・新型コロナウイルスワクチン(R3開始)	法定予防接種を実施した。(すべて個別接種) ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合(百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ) ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん(積極的勧奨します) ・水痘 ・B型肝炎 ・ロタウイルス感染症(R2開始) ・新型コロナウイルスワクチン(R3開始)
		23	小児慢性特定疾患患者への見舞金支給	健康推進課	伊那市難病患者等見舞金(小児慢性特定疾患分 年額10,000円 所得制限あり)を支給する。	・令和4年度より、所得制限を廃止 ・伊那市難病患者等見舞金(小児慢性特定疾患分 年額10,000円)を支給 27人
		24	休日救急当番運営事業	健康推進課	休日緊急当番医事業(上伊那医師会)及び休日緊急歯科診療事業(上伊那口腔保健センター・上伊那歯科医師会)の費用を負担し事業を継続実施する。	・休日診療当番医事業負担:2,021千円 ・休日緊急歯科診療事業助成金:2,613千円
(4)相談体制の充実	各事業での相談体制の充実	25	育児相談	健康推進課 子育て支援課 学校教育課 文化交流課 税務課 管理課 社会福祉課 福祉相談課	・育ちの相談(予約制) 毎月1回 ・各支所、長谷健康増進センター育児相談 毎週1回 ・高遠町保健センター 毎月2回 ・本庁、伊那市保健センター育児相談 随時実施(健康推進課) ・子育て、教育に関する相談 随時実施(学校教育課) ・助産師による出産・育児相談(生涯学習センターちびっこ広場)毎月1回(子育て支援課)	・育ちの相談(予約制) 毎月1回 11回 延べ26人相談 ・伊那市保健センター、各支所、高遠町保健センター、長谷健康増進センター育児相談 毎週1回 ・本庁育児相談 随時実施(健康推進課) ・子育て、教育に関する相談 随時実施(学校教育課) ・助産師による出産・育児相談(生涯学習センターちびっこ広場)毎月1回(子育て支援課)
		26	こころの相談	健康推進課	こころの健康のバランスを崩す心配がある子どもや両親に対し、臨床心理士による相談支援を行う。 毎月2～3日 伊那市保健センター(予約制)	相談者実人数 53人(延べ124人) R5.2月末時点

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
		27	子育て講座・親育て講座	健康推進課 子育て支援課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館で、未就園児とその親を対象とした子育て講座を開催し、子育ての楽しさの共有や子育ての悩みについて相談できる環境を整えていく。 (生涯学習課) 子育て支援センターで保健師が子育て講話を行う。 (健康推進課・子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の子育て教室の実績 登録数は全公民館で122世帯 144人。伊那9回、富県11回、美篤9回、手良12回、東春近8回、西箕輪12回、西春近11回、高遠町9回、長谷9回、伊那、富県はキッドピクス 西春近は赤ちゃん対象のベビー教室を開催した。季節に合わせた行事(いちご狩り、運動会、クリスマスなど)や畑づくり、講演会など企画し、交流や悩み相談などを行なった。 (生涯学習課) 子育て支援センターで保健師が子育て講話を行った。 (健康推進課・子育て支援課)
	総合相談体制の充実	28	総合相談体制	福祉相談課	障害者、高齢者の総合相談窓口として、複合的な課題を持った家庭への支援を関係機関と連携をとりながら、専門職等がチームとなって支援を行う。(重層的支援体制整備事業含む)	複数の機関をまたぐ複合的な課題を抱えた家庭に対して、重層的支援会議を5世帯について開催した。相談支援包括化協力員会議を2回、チーム会議を2回開催し、相互に情報共有と支援体制について確認した。
(5)子育て支援体制の構築	地域子育て支援拠点事業	29	子育て支援センター事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 竜南・上の原・富県・西箕輪・高遠の5センターの運営 育児用品などのリサイクル交換会を行う(富県)。 地域交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 竜南・上の原・富県・西箕輪・高遠の5センターの運営 育児用品などのリサイクル交換会を行った(富県 2回実施) 地域交流はコロナの為中止
		30	子育てサークルや団体への支援	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー・サポート・センター協力会員による活動の託児 双子育児サークル「さくらんぼの会」等で育児講話や相談を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー・サポート・センター協力会員による活動の託児 双子育児サークル「さくらんぼの会」等で育児講話や相談を行った。4回開催 参加組数 延べ15組
		31	子育て学級	子育て支援課 生涯学習課	各公民館で、未就園児とその親を対象とした子育て講座を開催し、子育ての楽しさの共有や子育ての悩みについて相談できる環境を整えていく。 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の子育て教室の実績 登録数は全公民館で122世帯 144人。伊那9回、富県11回、美篤9回、手良12回、東春近8回、西箕輪12回、西春近11回、高遠町9回、長谷9回、伊那、富県はキッドピクス 西春近は赤ちゃん対象のベビー教室を開催した。 季節に合わせた行事(いちご狩り、運動会、クリスマスなど)や畑づくり、講演会など企画し、交流や悩み相談などを行なった。 (生涯学習課)

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
		32	子育てサークル等の拡充	子育て支援課 健康推進課	・子育てガイドブックで子育てサークルを紹介する。 ・乳幼児健診や乳児訪問時に必要な親子に子育てサークルを紹介する。 (子育て支援課)	・子育てガイドブックで子育てサークルを紹介した。 ・乳幼児健診や乳児訪問時に必要な親子に子育てサークルを紹介した。 (子育て支援課)
	ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業	33	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	会員相互の地域での助け合いの託児等の支援 ・6、7月に協会員養成講座を定住自立圏で共同開催し会員増を図る。 ・スキルアップ研修会開催	会員相互の地域での助け合いの託児等の支援 ・6、7月に協会員養成講座を定住自立圏で共同開催し会員増を図った。参加者 13人 協会員登録者数 9人 ・スキルアップ研修会1回開催 参加人数 16人
		34	一時預かり事業	子育て支援課	通院、求職、リフレッシュ等の一時的な保育を必要とする保護者を支援するため市内の公立私立の7園で実施	通院、求職、リフレッシュ等の一時的な保育を必要とする保護者を支援するため市内の公立私立の7園で実施した。 2月末現在 延べ 305人
	子育て短期支援事業	35	子育て支援短期利用事業	子育て支援課	・一時的(1回利用が7日間まで)に保護者が養育を行うことが困難である時、児童養護施設「たかずやの里」、ファミリーホーム、里親に宿泊委託する。 ・たかずや福祉会の運営に対する支援を行う。	・一時的(1回利用が7日間まで)に保護者が養育を行うことが困難である時、児童養護施設「たかずやの里」、ファミリーホーム、里親に宿泊委託した。利用児童数 延べ64人 ・たかずや福祉会の運営に対する支援を行った。
	高校生乳幼児健診体験学習	36	乳幼児健診体験学習(中学生)	健康推進課	コロナ禍のため今年度は実施しない。	コロナ禍のため今年度は未実施。
(6)育児支援と情報提供	ワークライフバランスの啓発	37	事業者への啓発活動	商工振興課	企業アンケートに併せて、ワークライフバランスを含む企業人権パンフレットを事業者へ配布し、生活と仕事の調和について考えるきっかけとしてもらう。	市内製造業等201社を対象としたアンケート送付時に、企業人権に関する啓発冊子を同封し、経営者への啓発を図った。
		38	ながの子育て家庭優待パスポート事業	子育て支援課	・新規事業者募集を行う。 ・転入者や妊婦などの新規対象者にカードを発行する。 ・パスポート事業周知や紛失時に再発行できることなどの広報を行う。	・新規事業者募集を行った。R5.3.7現在 153店舗 ・転入者や妊婦などの新規対象者にカードを発行した。 ・パスポート事業周知や紛失時に再発行できることなどの広報を行った。
	子育て支援ガイドブック等の情報発信	39	子育てガイドブック	子育て支援課	子育て情報をまとめたガイドブックを、年1回更新発行し、妊娠届出時、転入時に配布する。	子育て情報をまとめたガイドブックを、年1回更新発行し、妊娠届出時、転入時に配布した。移住希望者への子育て支援情報資料として好評。
		40	ホームページやメール発信での情報提供	子育て支援課	安心安全メールの0～2歳情報で、未就園児向きの情報発信を行う。毎金曜日	安心安全メールの0～2歳情報で、未就園児向きの情報発信を行った。毎週金曜日年間53回発信。

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(7)ひとり親家庭への支援	ひとり親家庭への支援	41	遺児等福祉金	子育て支援課	父又は母が死別、重度障害となった18歳未満の児童を養育する保護者に児童1人年額14,000円を支払う。(8月)	55件(78人) 1,092,000円
		42	母子父子自立支援員の設置	子育て支援課	R4年度から1名増員し、2名体制で子ども相談室や関係機関と連携し、ひとり親家庭の相談や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	R4年度から1名増員し、2名体制で子ども相談室や関係機関と連携し、ひとり親家庭の相談や就労支援等、自立に向けた支援を行った。
		43	児童扶養手当	子育て支援課	ひとり親家庭に対する生活の安定と自立支援のため満18歳の年度末までの児童を養育する保護者に手当を支給 支給額(所得制限あり)児童1人 全部支給月額43,070円 一部支給10,170円～43,060円第2子以降加算あり	支給人数 延べ4,416人 176,469,100円(R5年2月末現在)
		44	ひとり親家庭の親と子の集い	子育て支援課	・ひとり親家庭対象のバスハイク(コロナの状況を見ながら)実施 ・ひとり親家庭の交流事業を行う。年6回	・バスハイクは、新型コロナ感染拡大のため中止。 ・ひとり親家庭の交流事業を行った。6回実施。
		45	母子生活支援施設の広域入所	子育て支援課	DV等で支援が必要な母子家庭を母子生活支援施設へ入所させる。	R4年度 入所継続 1世帯
		46	母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課	ひとり親家庭の母親の就労等による託児支援に、ファミリー・サポート・センター会員を支援員として派遣する。	2名 11回派遣

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(8)発達相談と療育の充実	児童発達支援事業	47	児童発達支援事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 親子通園による生活や遊びを通して、心身の発達に支援を必要とする子どもの発達育成を図る。 児童発達支援センターとして1日35人の児童と重度心身障害児5人を受け入れる。 令和6年度児童福祉法一部改正に向け地域の中核的な役割を担う児童発達支援センターとしての機能について検討を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子通園による生活や遊びを通して、心身の発達に支援を必要とする子どもの発達育成を図った。 児童発達支援センターとして1日40人の児童と重度心身障害児5人を受け入れた。在園児数 63人。
	発達相談・発達支援事業	48	児童発達支援センター	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中核的な療育支援施設支援としての体制整備を進める。 児童発達支援センター小鳩園で、発達に課題のある子どもが自立に向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中核的な療育支援施設支援としての体制整備を進めた。 児童発達支援センター小鳩園で、発達に課題のある子どもが自立に向けて生きていく力を培うための相談・支援を行った。相談件数 286件
		49	障害福祉サービス	社会福祉課 子育て支援課	<p>上伊那圏域地域自立支援協議会療育部会を年4回開催予定。</p> <p>①療育に関わる研修会を企画し、併せて圏域の課題について他の部会等と連携しながら検討する。</p> <p>②地域分析に関わるWG(市町村保健・福祉・教育担当課、市町村代表特別教育コーディネーター、医療機関等)を設置し、各市町村の母子保健から学齢期における支援体制について地域分析の手法を用いて統一フォーマットにて分析を行う。(年4回程度) (社会福祉課・子育て支援課)</p>	<p>上伊那圏域地域自立支援協議会療育等連絡会を年3回開催、研修会を1回開催。</p> <p>①療育に関わる研修会をオンライン形式で実施した。講師は相模女子大学の日戸由刈先生。</p> <p>②成長ダイアリーについて伊那市の取組発表を行い、システムの運用の必要性を確認した。</p> <p>③重心・要医ケア部会と合同部会にて、圏域の医ケア児の支援体制について共有を行った。</p> <p>④地域の支援体制について、飯島町の取組の発表を行うとともに、高校生年代の支援体制について提案を行った。</p> <p>⑤LDの支援に関して教職員対象に上伊那圏域特別支援教育連携協議会が実施した学習に困難さのある児童生徒に関するアンケートの結果について共有を行った。 (社会福祉課・子育て支援課)</p>
	医療的ケア児保育支援事業	50	医療的ケア児支援	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の医療的ケア児受け入れのために、引き続き看護師配置を行う。 保育園の看護師配置の補完体制を整える。(児童発達支援センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の医療的ケア児受け入れのための看護師等配置 保育園1園に1名配置 保育園の看護師配置の補完体制 児童発達支援センターに看護師3名配置

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(9)児童虐待予防と早期発見・早期対応	児童虐待	51	子どもの総合相談窓口の充実	健康推進課 子育て支援課 学校教育課 生涯学習課 社会福祉課 福祉相談課	各支所、伊那市保健センター、高遠町保健センター、長谷健康増進センターで定期健康相談窓口を開設する。 (健康推進課) ・子ども相談室で、0歳から18歳までの支援を途切れなく行っていく。 ・要保護児童対策協議会等において、関係機関と連携を図る。 ・ヤングケアラー対策についても連携を図る。 (学校教育課)	各支所、伊那市保健センター、高遠町保健センター、長谷健康増進センターで定期健康相談窓口を開設した。 (健康推進課) ・子ども相談室で、0歳から18歳までの支援を途切れなく行った。 教育相談 800件 家庭相談 970人 ・要保護児童対策協議会等において、関係機関と連携を図った。 ・ヤングケアラーの早期把握とケースに応じた適切な支援を実施した。 (学校教育課)
		52	要保護児童地域対策協議会の充実	子育て支援課 学校教育課 社会福祉課 福祉相談課	要保護児童対策地域協議会により、関係機関の代表者や担当者との連携を図り、児童虐待の早期発見と対応や継続支援を行い、重篤事例の発生防止に努める。また、要保護児童の情報共有や支援内容の協議と見直しを定期的に行い、子どもの安心できる生活環境の構築を図る。 (学校教育課)	要保護児童対策地域協議会により、関係機関の代表者や担当者との連携を図り、児童虐待の早期発見と対応や継続支援を行い、重篤事例の発生防止に努めた。また、要保護児童の情報共有や支援内容の協議と見直しを定期的に行い、子どもの安心できる生活環境の構築を図った。 (学校教育課) ・民生児童委員向けヤングケアラーチラシ作成 200枚 ・民生児童委員向けヤングケアラー研修会開催(R5.3.5約40名参加) (社会福祉課)

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(10)子どもの貧困対策の推進	教育の支援	53	相談・指導体制の充実	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー及び子どもと親の相談員を配置し、児童生徒の家庭環境等を踏まえた相談・指導体制を確保する。 ・長期休業中の中学生の居場所づくり、生活リズムの構築のため、学習支援ボランティアを活用した中学生の自習室を設置し学習の支援を行う。また、小中学校の放課後等で同じくボランティアの協力により学習支援を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー(1人)、スクールカウンセラー(5人)及び子どもと親の相談員(13人)を配置し、児童生徒の家庭環境等を踏まえた相談・指導体制を確保した。 ・長期休業中の中学生の居場所づくり、生活リズムの構築のため、学習支援ボランティアを活用した中学生の自習室を設置し学習の支援を実施した。(5日以上、各会場10日間程度実施) ・小中学校の放課後等で同じくボランティアの協力により学習支援を実施した。(19校)
	生活の支援	54	学習・生活の支援	福祉相談課 子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者世帯の子どもに対する学習・生活支援事業を実施し、居場所づくりや学習支援を行う。 (福祉相談課) ・子どもの学習・生活支援事業により、ひとり親家庭の児童・生徒への支援を行う。 ・家庭相談員、女性相談員、母子父子自立支援員との相談支援体制により、支援を行う。 (学校教育課・子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者世帯の子どもに対する学習・生活支援事業を実施し、居場所づくりや学習支援を行った。 (福祉相談課) ・子どもの学習・生活支援事業により、ひとり親家庭の児童・生徒への支援を行った。(伊那市社会福祉協議会実施 子ども食堂 学習参加児童数 夏休み 7/26~8/19 15日間実施 59人 冬休み 12/27~1/6 4日間実施 31人) ・家庭相談員、女性相談員、母子父子自立支援員との相談支援体制により、支援を行った。 (学校教育課・子育て支援課)
	保護者に対する就労支援	55	就労支援の充実	福祉相談課 生涯学習課	生活保護世帯の中で就労可能な被保護者について、ハローワークへの同行や助言等の就労支援を行う。	生活保護世帯の中で就労可能な被保護者について、ハローワークへの同行や助言等の就労支援を行った。
		56	母子家庭自立支援事業	子育て支援課	自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業により、ひとり親家庭の就業に有利となる資格取得費用や、資格取得中の生活費となる費用を補助する。	自立支援教育訓練 1件 25,718円 高等職業訓練 4件 5,886,000円

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

		通し番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
経済的支援		57	生活・就労の相談	管理課 社会福祉課 福祉相談課	生活困窮者自立支援事業により、生活困窮や就労に関する相談を受け付け、関係機関と連携して対応する。	生活困窮者自立支援事業により、生活困窮や就労に関する相談を受け付け、関係機関と連携して対応した。 2月末現在 1,798件
		58	母子・父子家庭医療費助成	健康推進課	ひとり親家庭の親子等の医療費を助成する。(所得制限あり)	ひとり親家庭の親子等に医療費の助成を行った。 令和5年2月末現在 1,199人 令和4年8月診療分から、ひとり親家庭等の子(現物給付方式)については、窓口での自己負担額を無料化。
		59	ひとり親家庭生活資金貸付金	子育て支援課	ひとり親家庭の家計支援策として、児童扶養手当1か月分を貸し付ける。家計やりくり指導も行う。	192件 9,642,910円
		60	母子父子寡婦福祉資金の貸付	子育て支援課	ひとり親家庭の子どもが専門学校等に進学する際の修学資金等、長野県の貸付の受付を行う。	10件 13,806,372円
		61	就学援助	学校教育課	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学のために必要な経費の一部を助成し、就学を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・R4就学援助対象児童生徒数 小学校 353人、中学校 209人 ・R4入学前支給対象児童生徒数 小学校 44人、中学校 56人

第2期 子ども・子育て支援事業計画 令和4年度個別事業計画 実績

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針2>乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(1)保育・教育内容の充実	保育教育の質の向上	62	保育内容の充実	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上を図るため、保育士研修を実施 ・園長会や保育プロジェクト委員会等において、情報交換を行いつつ、さらなる充実に向けた課題を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長会 23回 ・保育プロジェクト委員会 2回
		63	地域活動事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭解放、園解放など各保育園にて実施 ・全保育園にて地域交流を実施 小学校・中学校・高校・高齢者クラブ・小鳩園・信州大学・地産グループ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での園庭解放、園解放を、感染レベルに応じて徐々に再開 ・コロナ禍のため高齢者との交流はほぼ中止、小学校・中学校・高校・小鳩園・地産グループ等は、感染レベルに応じて徐々に再開
		64	幼・保・小連携	学校教育課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・「小1プロブレム」の問題を解消するために、幼保小連携推進委員会(年3回)を開催し、幼保小連携プログラムに基づく取組の実践と検証を行いながら、引き続きより良い連携の在り方を検討していく。 ・保育士、教員の資質向上 園内、校内研修の実施、「幼保小連携プログラム」の充実 ・地域ごとの連携 授業参観、保育参観、公開授業保育を継続する。 ・連続性、一貫性を持って子どもの育ちと学びを支援していくことのできる体制を構築する。 ・実態を体験的に感得する機会として教職員相互の一日体験を継続する。 ・発達上支援の必要な乳幼児・学童・生徒について、「成長ダイアリー」を活用し、乳児期から幼稚園・保育園、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校、就労支援へ情報をつなぎ、支援を継続していく。 ・保育園、幼稚園児、小学校、中学校の児童生徒間相互の交流を進める。 (学校教育課・子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携推進委員会 2回開催 ・幼保小連携プログラム(アプローチカリキュラム及びビスタートカリキュラム)の実践と検証を行った。 ・保育士及び教職員相互の一日体験研修(保育士 12名、小学校教員 34名参加) ・保育士及び教職員合同研修(オンライン 10名参加) ・乳幼児・学童・生徒について、発達情報のつなぎとして「成長ダイアリー」を活用した。 ・近隣保育園、小中学校の児童生徒での交流を実施した。 ・公開保育 5名、公開授業 17名 参加 地域のつながりを確認し、連携を深めた。 ・近隣保育園、小中学校の児童生徒での交流を実施した。 コロナ禍のため、自粛した計画とし、最小限の交流とした。 (11園 延べ 21回) (学校教育課・子育て支援課)
		65	食育への取組	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・食育年間計画に沿った月齢別食育の推進 ・各園での地域協働の食育活動 ・保育士、給食技師を対象にした子どもの食についての研修会実施(離乳食・乳児食・アレルギー対応など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育年間計画に沿った月齢別食育の推進 ・各園での地域協働の食育活動 ・保育士、給食技師を対象にした子どもの食についての研修会実施(離乳食・乳児食・アレルギー対応など) 60人参加 ・各園へ巡回指導を行った。

〈基本方針2〉乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
	保育士等の 確保と処遇改善	66	保育士等の確保と処遇 改善	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の入園数の増加傾向に対応する保育士の募集 ・保育士等のやりがいのある職場づくりと、処遇改善 ・担い手を確保するため保育実習の受入れや大学等の保育士育成機関への情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職安等への求人活動を実施 年度当初に要する保育士の基準人員を確保 ・処遇改善臨時特例交付金事業を活用して、保育園等の職員の給与単価を平均約3%上昇 ・会計年度任用職員の福利厚生等を充実、Ⅱ種からⅠ種への昇格試験の実施 ・大学生の保育実習の受入れを実施 大学等のガイダンスへ参加、採用情報の発信

〈基本方針2〉乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(2)保育・教育サービスの充実	保護者負担の軽減	67	保育園保育料軽減	子育て支援課	・子育て世代の負担軽減を図るため、基本保育料の減額を行う。 ・多子世帯に対し保育料の軽減を行う。	①3歳未満児 ・保育料の減額拡充を継続(県下19市中以最安レベル) ②3歳以上児 ・保育料 国基準により無償化 ・副食費 国基準の月額4,500円を3,000円に軽減 第3子以降無償(同一世帯に拡充) ※令和5年度からは、更に副食費完全無償化とする予定 ③多子世帯の保育料軽減の拡充 ・保育料 第2子1/2 第3子以降無償(同一世帯に拡充) ・副食費 第3子以降無償(同一世帯に拡充) ④信州やまほいく保育料軽減事業への協力 ・やまほいく認定園の3歳以上児を、県と市で独自に国制度に準じる無償化
		68	幼稚園保育料等軽減	子育て支援課	・子育て世代の負担軽減を図るため、基本利用料の減額を行う。 ・施設型給付費を支給し利用者負担を軽減する。	・上記(保育園)と同様としている。
	一時預かり事業、延長保育事業、病児病後児保育事業	69	延長保育事業	子育て支援課	市内23園中、23園で実施 朝7:30～8:00 夕16:00～18:30まで 16園 朝7:30～8:00 夕16:00～19:00まで 6園 朝7:00～8:00 夕16:00～19:00まで 1園	・市内24園中、24園で実施 朝7:30～8:00 夕18:30まで(標準時間) 17園 朝7:30～8:00 夕18:30～19:00まで 6園 朝7:00～8:00 夕18:30～19:00まで 1園
		70	一時的保育事業	子育て支援課	市内7園で実施 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園(私立)、つくしんぼ保育園(私立)、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園(私立)	市内7園で実施 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園(私立)、つくしんぼ保育園(私立)、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園(私立)
		71	休日保育事業	子育て支援課	12月29日から1月3日までを除く日曜・祝日の保育を実施 場所:上の原保育園	12月29日から1月3日までを除く日曜・祝日の保育を実施 場所:上の原保育園
		72	病児・病後児保育事業	子育て支援課	病気療養中及び回復期において、集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かる。 市内1カ所、市外3カ所	・病気療養中及び回復期において、集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かる。 市内1カ所、市外3カ所 ・コロナ禍の影響により、受入れ可能数を制限しながら実施

〈基本方針2〉乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
		73	幼稚園の長期休業預かり	子育て支援課	長期休業時の預かり保育を市内幼稚園で実施	長期休業時の預かり保育を市内幼稚園で実施
	その他	74	障害児保育の充実	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた保育士の加配を行う。 ・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育に関する研修会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・就園支援委員会を設置し、各園の園児の状況に応じて保育士を配置 ・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育に関する研修会実施
(3)保育士・幼稚園教諭等の資質の向上	保育士・幼稚園教諭等の資質の向上	75	職員の資質向上	子育て支援課	職層研修・・・各職層に求められる職務遂行能力の向上と専門性を学ぶ。 専門研修・・・職務ごとに求められる専門的理論・技術を学ぶ 特別研修・・・そのほかの研修では実施が予定されていない内容であって、情勢に応じて早期に園全体で受講する必要がある場合	<ul style="list-style-type: none"> ・園長、副園長、リーダー、中堅、新人、給食担当者等各研修 ・保健衛生専門研修会 ・保育所地域子育て塾 ・主任保育士、主幹保育教諭特別講座 ・保育園職員研修等実施 ・フィールド研修、やまほいく研修、キャリアステージ研修等のほか、オンラインを活用した保育内容研究や、園内研修等多くの研修を実施し職員の資質向上を図った。
(4)地域に密着した特色ある保育・教育活動の推進	おいし伊那食育応援団	76	地域に密着した保育園・幼稚園等の運営	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体や住民との協働 ・やまほいく、がるがるっこ、シンボルツリー等の体験の創出による、地域の自然や環境を生かした特色ある活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体や住民との協働 ・やまほいく、がるがるっこ、シンボルツリー等の体験の創出による、地域の自然や環境を生かした特色ある活動 ・食育応援団：R4年応援団の在り方を再度検討するため、保育園等への出前講座は実績なし。検討会議1回開催(健康推進課)
	体験の場の活用	77	地域の自然や環境の活用	子育て支援課	地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を全園で実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での地域との協働活動を、感染レベルに応じて徐々に再開 ・信州やまほいくについて、新たに西春近南、伊那北保育園が普及型の認定 ・ソニー財団のチャレンジ賞を4園(富県、西箕輪南部、新山、高遠第2第3)が受賞
	その他	78	地域との連携	子育て支援課	・コロナの感染状況をみながら、地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を実施する。	・地域運営委員会は、可能な範囲で人数と規模を縮小して実施したが、コロナ禍のため各園が2回程度の実施となった。

〈基本方針2〉乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(5)保育・教育環境の整備	児童減少地域の子どもの保育教育の確保対策	79	若者定住促進に情報発信と、施設の整備・長寿命化	地域創造課 学校教育課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進と連携した子育て支援施設等の情報発信 ・オンラインやSNS等を積極的に活用した、若者や子育て世代の移住・定住促進に向けた情報発信(地域創造課) ・小規模学校の特徴を生かす取組である小規模特認校制度について周知を行い、制度に基づく児童の受け入れを行う。(学校教育課) ・小学校就学前において、保育認定を受けられない子どもの集団活動の体験の場となる教育を可能とするため、必要となる地域の認定こども園化や特別利用保育の実施を研究する。 ・子育て環境確保のための施設整備・長寿命化 【保育園関係】 <ul style="list-style-type: none"> ・園庭の芝生化を推進(西箕輪南部(トラック内)、美篤(遊具まわり)約,200㎡芝生補修計画) ・手良保育園長寿命化改修 ・緑ヶ丘敬愛幼稚園改築工事補助事業実施(R3-R4)(子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進と連携した子育て支援施設等の情報発信 ・オンラインやSNS等を積極的に活用した、若者や子育て世代の移住・定住促進に向けた情報発信(地域創造課) ・小規模特認校制度について周知を行い、制度に基づく児童の受け入れを行った。 R4中の新規受入れ:新山小4人、伊那西小7人 R5から新規受入れ:伊那西小5人、高遠北小2人(学校教育課) ・子育て環境確保のための施設整備・長寿命化 【保育園関係】 <ul style="list-style-type: none"> ・西箕輪南部(トラック内)、美篤(遊具まわり)約,200㎡の芝整備が完了 ・令和5年2月末日手良保育園長寿命化改修工事しゅん工(事業費:35,244千円) ・令和5年3月緑ヶ丘敬愛幼稚園改築工事しゅん工のため補助金(2億5千万)を交付 ・公立保育園における使用済み紙おむつの園での処分を開始(R4年11月から)※R5年度からは私立園への補助を予定(子育て支援課)
	認定こども園化、特別利用保育	80	小学校就学に向けた集団活動の体験	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 「山の遊び舎 はらぺこ」の地域裁量型認定こども園への移行を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域裁量型認定こども園「山の遊び舎 はらぺこ」の県への認可申請 ・家庭的保育所「はらぺこもりのぺこちゃん」の認可 ・両施設の令和5年4月開始に向けた手良地籍への移転工事への補助を実施

〈基本方針2〉乳幼児保育と幼児教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
	施設の防犯対策 及びICT化等の 促進	81	施設の防犯対策及び ICT化等の促進	危機管理課 学校教育課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市安全会議子ども安全部会と連携し、実働による効果的な防犯対策を実施する。(危機管理課) ・施設の消防防災計画の点検と見直し ・防犯防災の設備及び備品の点検・整備 ・保護者の利便性の向上と保育業務の効率化に向けたICTシステムの導入(R4年11月から) (子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市安全会議子ども安全部会による防犯啓発活動(2回) ・防犯協会と連携し、年間を通じた該当啓発活動(78回) (危機管理課) ・令和4年4月に子育て支援課所管の全施設の計画の点検見直しを実施 ・防犯防災の設備点検を実施し緊急で対応が必要なものは修繕を実施、又、軽微なものについてはR5年度予算へ計上 ・令和4年10月までにネットワークを整備、令和4年11月より保育業務支援システム(コドモン)運用開始 (子育て支援課)
(6)乳幼児との ふれあいの場の 提供	職場体験 ・保育ボランティア の受入れ	82	職場体験・保育ボラン ティアの受入れ	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生及びボランティアの交流受入れ (学校教育課・子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の職場体験を実施 1校 ・中学生の職場体験 コロナ禍のため規模や人数を制限して実施 (子育て支援課)

第2期 子ども・子育て支援事業計画 令和4年度個別事業計画 実績

<目標> 子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して子育てのできるまち いなし

<基本方針3>青少年健全育成と家庭教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(1)子どもの 安全安心な居場 所確保	子どもの居場 所づくり	83	子どもの居場所づくり	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中、各公民館で「おいで塾」系の講座を開催し、児童の規則正しい生活リズムを整え、日中の居場所を確保できるよう取り組む。 学習室の設置。子供対象の講座や体験教室の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中、各公民館で「おいで塾」系の講座を開催し、児童の規則正しい生活リズムを整え、日中の居場所を確保できるよう取り組んだ。公民館では「おいで塾」系の講座を8公民館で開催(美篤は地区内小学校が新型コロナの感染拡大のため中止)延べ 1122人参加 学習室の設置。子供対象の講座や体験教室の実施。伊那公民館は小学生の将棋、囲碁教室、美篤公民館は親子青空体験教室、西箕輪公民館は親子陶芸教室を開催した。各教室とも参加人数 約20名 親子は9組
		84	公園整備	都市整備課	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化対策事業・榛原河川敷公園複合遊具更新工事 公園施設長寿命化対策事業・伊那公園複合遊具更新 公園の環境整備 除草作業、支障木伐採など 公園遊具安全点検 公園施設維持管理 木製遊具への防腐剤塗布、破損個所の修繕など 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化対策事業・三峰川榛原河川公園複合遊具更新工事 公園施設長寿命化対策事業・伊那公園複合遊具更新 公園施設長寿命化対策事業・春日公園複合遊具更新 公園の環境整備 除草作業、支障木伐採など 公園遊具安全点検 公園施設維持管理 木製施設への防腐剤塗布、破損個所の修繕など
		85	児童遊園地設置補助事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治団体が児童遊園地を設置(新設(補助率1/2以内)、増設(補助率1/3以内)、改修(補助率1/3以内))する事業に対し予算の範囲内で補助する。 遊具の不備で事故が起きた場合の賠償責任保険の加入。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助実績 2団体 遊具の不備で事故が起きた場合の賠償責任保険の加入。
	学童クラブ	86	児童の安全、保育の質の向上 施設整備 保育園、小学校、地域との連携	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業特別学童クラブの開設、拡充 入所希望調査実施(9月) 施設の修繕・備品の購入 児童福祉担当課との連携 新山小学学童クラブ建築設計 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業特別学童クラブの開設 延べ利用 19,995人 入所希望調査実施(9月) 4学童クラブ 施設の修繕・備品の購入 実施 児童福祉担当課との連携 実施なし 新山小学学童クラブ建設 R5.3.8竣工 R5.3.13開所

〈基本方針3〉青少年健全育成と家庭教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的な数値、内容)
	スクール ゾーン・ キッズゾーン の設定	87	通学、通園、散歩コース 等の安全確保	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 学校、保育所、道路管理者、警察等と連携し、子どもたちが日常的に集団で移動する経路の危険個所の確認をし、関係部署に依頼しながら計画的に整備を進めている。 引き続き学校が決めた通学路を職員やPTAが実際に歩き安全性を確認する。 教員、見守り隊用に安全ベストを配布する。(各校3着)(学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校、保育所、道路管理者、警察等と連携し、子どもたちが日常的に集団で移動する経路の危険個所の確認をし、関係部署に依頼しながら計画的に整備を進めた。 送迎用駐車場から園までの距離が遠い園について現地を確認し、令和5年度予算で対応を予定している。(子育て支援課) 引き続き学校が決めた通学路を職員やPTAが実際に歩き安全性を確認した。 教員、見守り隊用に安全ベストを配布した。(各校3着)(学校教育課)
	その他	88	子どもの安全対策	危機管理課 生涯学習課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 「青色防犯パトロール」の実施(危機管理課) 教員、見守り隊用に安全ベストを配布する。(各校3着) 街頭補導の実施 毎週土曜日及び第3日曜日、学校長期休業期間 子ども安全見守り隊の活動に必要な各種消耗品に対して支給を行い、見守り隊の活動に対するサポートを行った。(学校教育課) 	<ul style="list-style-type: none"> 「青色防犯パトロール」の実施(2,904名/242日 ※3月末までの見込み含む)(危機管理課) 教員、見守り隊用に安全ベストを配布した。(各校3着) 街頭補導の実施 毎週土曜日及び第3日曜日、学校長期休業期間 子ども安全見守り隊の活動に必要な各種消耗品に対して支給を行い、見守り隊の活動に対するサポートを行った。(学校教育課)
(2)地域活動の 充実	地域との連携	89	コミュニティースクー ル、子ども見守り隊の 推進 よりよい教育環境づくり	学校教育課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の信州型コミュニティースクール運営委員会への運営資金を配当する中で、地域とともにある学校の推進とつながりをより一層図るべく実施していく。 よりよい教育環境推進取組計画による地域連携 信州あいさつ運動(毎月11日)実施の周知及び協力依頼(学校教育課) 	各学校の信州型コミュニティースクール運営委員会への運営資金を配当し、全校(21校)で地域とともにある学校の推進とつながりをより一層図るべく実施した。(学校教育課)
	青少年の 健全育成	90	ネット依存、子どもの 性被害、有害情報等へ の情報発信等	学校教育課	PTAと学校、地域との連携を図りながら、子どもへの有害と思われる情報等を収集し、文書配布や声かけ等で注意喚起を図る。	ネットに対する正しい知識の周知を図るため、小中学校21校中13校で講演会を実施した。(学校教育課)
		91	育成会等の団体への支 援	生涯学習課 スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 伊那市青少年健全育成事業支援 34団体(生涯学習課) 伊那市スポーツ少年団活動支援 事務局運営6競技22団体 伊那市総合型地域スポーツクラブ活動支援 通年開催の98教室を委託(スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 伊那市青少年健全育成事業支援 34団体(生涯学習課) 伊那市スポーツ少年団活動支援 事務局運営5競技20団体 伊那市総合型地域スポーツクラブ活動支援 通年開催の94教室を委託(スポーツ課)

<基本方針3> 青少年健全育成と家庭教育の充実

		通し 番号	具体的な施策	所管課	R4年度 事業計画	R4年度 実績(具体的数値、内容)
(3)家庭教育の 推進	家庭教育	92	子どもを温かく見守れる 親育て	学校教育課	小中学校とPTAが連携し、保護者における子育てや学習などの悩みや問題点を、情報共有したり意見交換する機会を設け、家庭における最良の子どもへの接し方を考える。	小中学校各校とPTAが連携し、保護者における子育てや学習などの悩みや問題点を、情報共有したり意見交換を実施した。 (学校教育課)
		93	子どもたちのあるべき 姿のグランドデザイン	子育て支援課 学校教育課	各小中学校の学校目標や教育テーマを軸に、保護者への学校経営の理解を深めてもらう中で、各家庭で取り組むべきイメージを構築する。 (学校教育課)	小中学校各校で、子どもたちの豊かな成長を支えるため信州型CSにより、地域住民に学校運営に協働で参画いただく中で、「地域と共にある学校」づくりを実践した。 (学校教育課)
		94	将来へ希望の持てる 家庭教育の構築	子育て支援課 学校教育課	学校と各家庭との連携や情報の共有をする中で、自分の子どもが望むあるべき姿や求める環境を教師や親が理解するための懇談機会と相談体制を整える。 (学校教育課)	学校と各家庭との連携や情報の共有をする中で、自分の子どもが望むあるべき姿や求める環境を教師や親が理解するための懇談機会と相談体制を確保した。 (学校教育課)
(4)インターネット 適正利用の推進	インターネット 適正利用	95	インターネット適正利用	学校教育課	・インターネットによる、ネット依存等による引きこもりや子どもの性被害の撲滅に対する啓発を実施する。 ・ネットトラブル相談事業の活用により、未然に子どもの被害を防ぐとともに、適正利用を啓発していく。	低年齢化が進むネットトラブルに対して、正しい知識の周知を図るため、年間を通じ相談体制を整えた。 (学校教育課)
(5)学校保健・ 思春期保健との 連携	学校保健・ 思春期保健との 連携	96	学校保健と思春期保健 等の連携	健康推進課 学校教育課	専門家を招き性教育講演会を開催(小学校 年1回、中学校 年4回) (学校教育課)	・専門家を招き性教育講演会を開催(小学校 年1回、中学校 年4回) (学校教育課) ・養護教諭と保健師栄養士・保育士の連携会議を全体及びブロック毎で実施し、子ども健康状態等の課題を共有した。 (健康推進課)
	不登校、 引きこもり	97	関係機関連携と 指導相談体制	福祉相談課 健康推進課 福祉相談課 学校教育課	・関係者機関で連携をとり情報共有することで、個別の早期支援体制を整える。 (福祉相談課) ・子どもに寄り添い、保護者との相談を重ね、長引かないよう問題解決を図っていく。 ・中間教室に教育支援コーディネーターを配置し、不登校や引きこもりとなっている児童生徒への支援を充実する。 (学校教育課)	・関係者機関で連携をとり情報共有することで、個別の早期支援体制を整えた。 (福祉相談課) ・中間教室に教育支援コーディネーターを配置し、新たに食農体験型中間教室を開設するなどして、不登校や引きこもりとなっている児童生徒への支援を充実した。 食農体験型中間教室利用者数：小学生8人、中学生10人 ・不登校児童生徒、生活困窮世帯の児童生徒の学習支援や居場所づくりに取り組んでいるNPO法人の運営費を補助した。 (学校教育課)